



第 79 期
中間報告書

(平成26年3月1日から
平成26年8月31日まで)

岡谷鋼機株式会社

証券コード 7485

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第79期上半期(第2四半期連結累計期間：平成26年3月1日から平成26年8月31日まで)を終了いたしましたので、ここに営業の概況等をご報告申し上げます。

平成26年10月

取締役社長

岡谷篤一



営業の概況

営業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、政治的混乱が見られたものの、米国を中心に緩やかな回復基調が続きました。日本経済は、消費税増税による影響で弱含みで推移していますが、補正予算執行の本格化、設備投資の増加が期待され緩やかに回復すると予想されています。

このような状況下にあって、当第2四半期連結累計期間における売上高は、3,908億82百万円で、前年同期比9.2%の増収となりました。

損益につきましては、売上総利益が255億58百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益が73億29百万円（前年同期比11.0%増）、経常利益が92億77百万円（前年同期比16.6%増）となりました。また、当四半期純利益は55億86百万円（前年同期比15.1%増）となりました。

中間配当金につきましては、1株あたり15円とし、支払開始日を10月31日とさせていただきます。

平成26年9月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株とする株式併合を実施しておりますが、今回の中間配当金は株式併合前の株式数が基準となります。

通期（平成26年度）の見通し

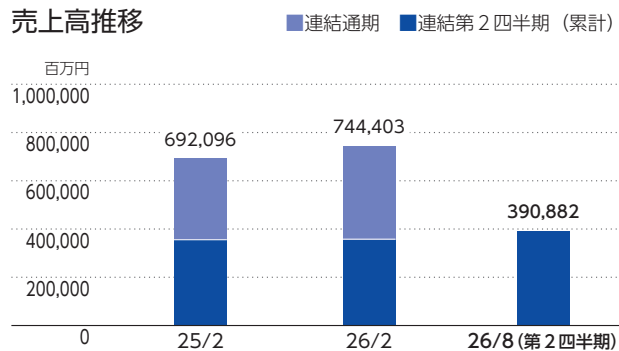
通期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、売上高は8,000億円を予想しております。

経常利益は170億円、当期純利益は110億円を予想しております。

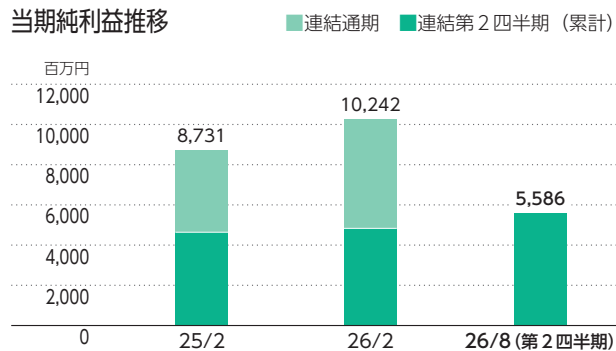
株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

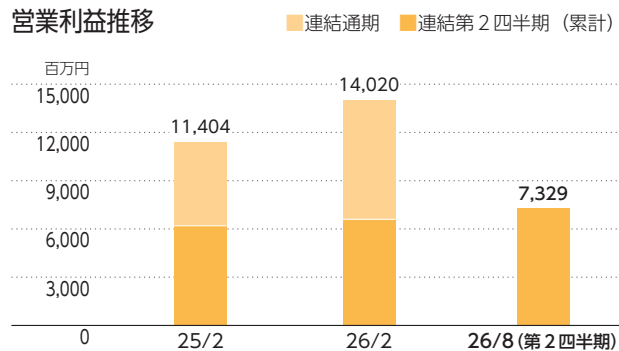
売上高推移



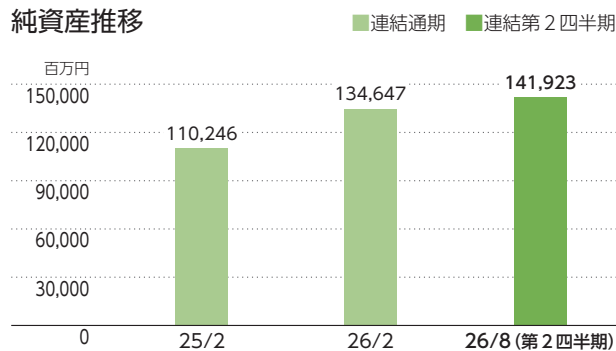
当期純利益推移



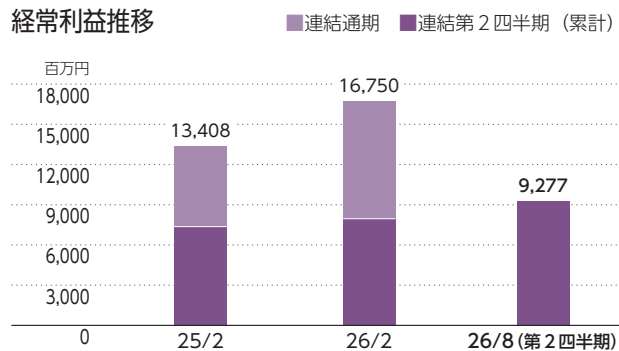
営業利益推移



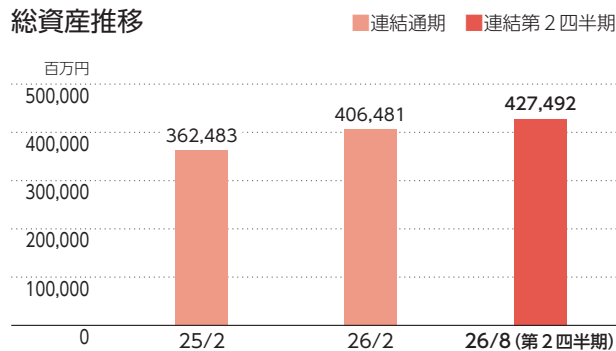
純資産推移



経常利益推移



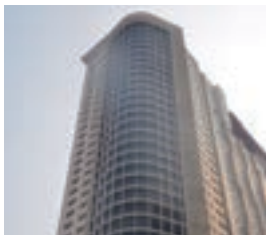
総資産推移



トピックス

1. シンガポール岡谷鋼機会社 マレーシア事務所開設について

当社子会社のシンガポール岡谷鋼機会社は、マレーシア連邦における情報収集活動を行うため、クアラルンプール市にマレーシア事務所を2014年6月に開設しました。



マレーシア事務所の入居ビル

2. メキシコ現地法人設立について

当社は、当社グループの中南米地域における営業拠点として、自動車産業を中心に各国からの進出が加速している同地域において今後の取引拡大のため、メキシコ合衆国グアナファト州シラオ市内に、商社現地法人であるメキシコ岡谷鋼機会社を2014年9月に設立しました。



メキシコ岡谷鋼機会社の入居ビル

3. ニシフミート株式会社の株式取得(子会社化)について

当社は、鶏肉加工品等の販売を行うニシフミート株式会社の株式を取得し、2014年5月に子会社化しました。同社の販路を活用し、当社グループの食品事業を強化します。

4. 農業生産法人の設立について

当社は、宮城県宮城郡松島町でトマトを生産する農業生産法人マキシマファーム株式会社(2014年9月設立)に出資しました。生産開始は2015年12月を予定しています。当社の食品事業との相乗効果を見込み、市場開拓を進めてまいります。

5. チャリティーコンサート開催について

当社は、社会貢献活動の一環として、昨年に引き続き2014年7月18日、愛知県芸術劇場コンサートホールにおいて「OKAYA C H A R I T Y CONCERT 2014 ~感謝の夕べ~」を開催しました。



多くの皆様にご賛同いただき、チケット売上金と当社からの寄付金及び、ご来場くださいました皆様からお預かりしました募金額を合わせ、合計380万円を越す金額を社会福祉法人愛知県共同募金会に募金しました。

6. インド共和国における日本語学校支援について

当社子会社のインド岡谷鋼機会社(本社 ニューデリー)は、同国における社会貢献活動の一環として、現地に開講する日本語講座への支援を開始しました。



日本語講座の名称は「OKAYA Sponsored Japanese Language Course」です。2014年8月に開講し、22名の受講生が熱心に日本語を学んでいます。

7. 広島県大雨災害への義援金寄付

当社は、2014年8月19日から広島県で発生した大規模な大雨災害による被災者の方々に対し、義援金を寄付しました。

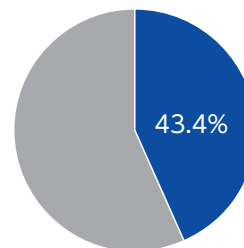
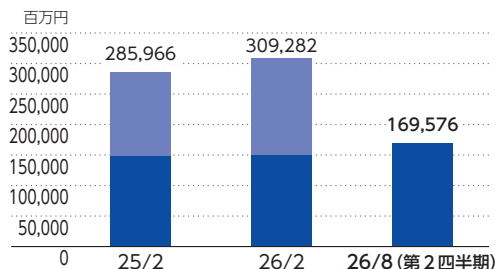
セグメント情報

鉄 鋼



鉄屑、棒鋼、鋼矢板、H型鋼、鋼板、鋼管、機械構造用炭素鋼、合金鋼、軸受鋼、工具鋼、ステンレス鋼 他

売上高推移



鉄鋼部門では、国内の土木・建築関連の需要回復を受け建材分野が順調に伸び、自動車関連向けの鋼板類も順調に推移しました。海外では、米国、中国が好調でした。

特殊鋼部門では、自動車関連を中心に順調でした。

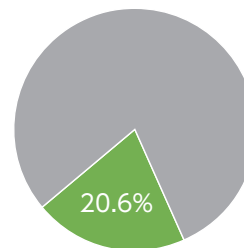
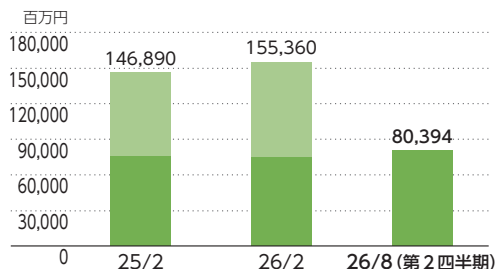
鉄鋼セグメント全体では、売上高は1,695億76百万円（前年同期比13.6%増）となりました。

情報・電機



銅・アルミ、レアアース、電子部材、汎用電機品、映像機器、半導体・周辺電子部品、ソフトウェア開発・販売 他

売上高推移



非鉄金属部門では、電子部材は堅調に推移しましたが、原料はスクラップの不足により売上高が伸び悩みました。

エレクトロニクス部門では、通信関連及びO A機器関連、自動車関連の電子部品が順調でした。

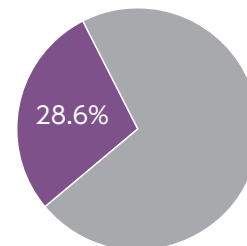
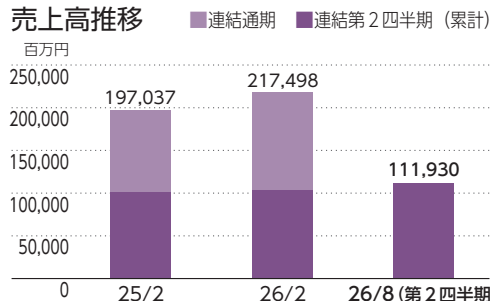
情報・電機セグメント全体では、売上高は803億94百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

産業資材



工作機械、工具、産業用ロボット、自動車部品、合成樹脂原料、樹脂成形品、環境・リサイクル対応設備、半導体・電子関連設備機器 他

売上高推移



メカトロ部門、化成品部門ともに、国内外の自動車関連を中心に部品・工具、樹脂原料が順調でした。メカトロ部門では、特に設備機械の輸出が好調でした。

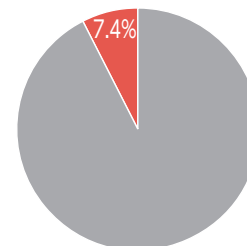
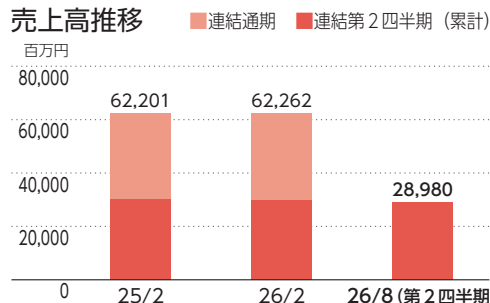
産業資材セグメント全体では、売上高は1,119億30百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

生活産業



配管資材、住設機器、住宅用資材、不動産開発、分譲マンション、水産物、畜産物、倉庫業 他

売上高推移



配管住設部門では、駆け込み需要の反動及び、子会社売却により売上高が減少しました。

建設部門では、分譲マンションの販売が増加しました。

食品部門では、水産物の輸入が減少しました。

生活産業セグメント全体では、売上高は289億80百万円（前年同期比3.1%減）となりました。

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日現在)	前連結会計年度 (平成26年2月28日現在)
資産の部		
流動資産	260,734	245,289
固定資産	166,757	161,191
有形固定資産	39,559	40,243
無形固定資産	2,242	1,015
投資その他の資産	124,955	119,932
資産合計	427,492	406,481
負債の部		
流動負債	229,767	221,680
固定負債	55,800	50,153
負債合計	285,568	271,833
純資産の部		
株主資本	90,413	85,551
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	73,938	69,074
自己株式	△ 450	△ 449
その他の包括利益累計額	43,800	41,468
その他有価証券評価差額金	44,577	41,461
繰延ヘッジ損益	0	△ 9
為替換算調整勘定	△ 777	15
少数株主持分	7,709	7,627
純資産合計	141,923	134,647
負債純資産合計	427,492	406,481

四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (平成26年3月1日から 平成26年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成25年3月1日から 平成25年8月31日まで)
売上高	390,882	357,927
売上原価	365,323	334,049
売上総利益	25,558	23,878
販売費及び一般管理費	18,229	17,275
営業利益	7,329	6,602
営業外収益	3,138	2,513
営業外費用	1,190	1,160
経常利益	9,277	7,955
特別利益	88	22
特別損失	2	172
税金等調整前四半期純利益	9,363	7,805
法人税、住民税及び事業税	3,634	2,641
法人税等調整額	△ 104	42
少数株主損益調整前四半期純利益	5,833	5,120
少数株主利益	247	269
四半期純利益	5,586	4,851

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (平成26年3月1日から 平成26年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成25年3月1日から 平成25年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,248	10,246
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,097	△ 1,173
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,936	△ 8,668
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 192	805
現金及び現金同等物の増減額	21	1,209
現金及び現金同等物の期首残高	8,801	8,307
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,822	9,517

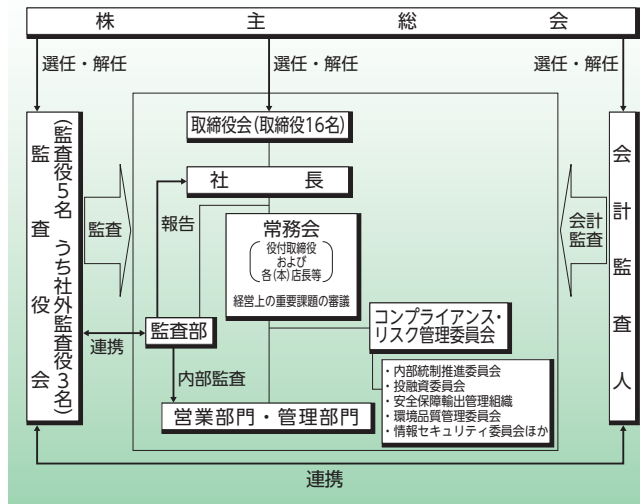
内部統制システムに関する基本的な考え方およびその整備状況

1. 基本的な考え方

企業としての社会的責任を自覚し、コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスおよびリスク管理を経営の重要な課題と位置付けており、課題達成のためのインフラとして内部統制システムを位置付け、継続的に充実・強化を図っております。

2. 整備状況（詳細は当社ホームページをご参照ください。 <http://www.okaya.co.jp/>）

- ① 取締役・使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
- ② 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制
- ③ 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- ④ 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
- ⑤ 当社および子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
- ⑥ 監査役の職務を補助すべき使用人に関する体制と当該使用人の取締役からの独立性に関する事項
- ⑦ 取締役および使用人が監査役に報告するための体制その他監査役への報告に関する体制および監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制



利益配分に関する基本方針および株主優待について

1. 配当政策

当社グループは、株主に対する利益還元を企業経営の重要政策の一つと考えており、競争力を維持・強化して株主資本の充実に努めつつ、配当を行うことを基本方針としております。

2. 株主優待

当第2四半期末（平成26年8月期）株主優待として、8月末保有株式数2単元（株式併合前1,000株）以上の株主様に、《山の幻 愛知米ミネアサヒ5kg》をお贈りいたします。

また、平成27年2月末保有株式数1単元（株式併合後100株）以上の株主様に、《山の幻 愛知米ミネアサヒ5kg》をお贈りする予定です。

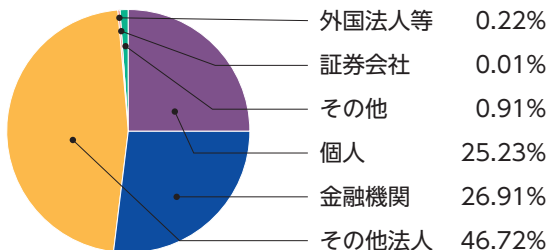
株式の状況 (平成26年8月31日現在)

株式の状況

株式数	
発行可能株式総数	177,856,000 株
発行済株式の総数	48,600,000 株
株主数	3,419 名

株式分布状況

所有者別割合



大株主の状況

株主名	持株数 千株	持株比率 %
岡谷不動産株式会社	6,071	12.60
岡谷篤一	2,408	5.00
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,314	4.80
新日鐵住金株式会社	2,120	4.40
三井住友信託銀行株式会社	2,010	4.17
株式会社りそな銀行	1,327	2.75
日本興亜損害保険株式会社	1,085	2.25
岡谷鋼機社員持株会	910	1.88
オークマ株式会社	816	1.69
公益財団法人真照会	693	1.43

- (注) 1. 持株比率は自己株式(426,813株)を控除して計算しております。
 2. 日本興亜損害保険(株)は、(株)損害保険ジャパンと平成26年9月1日をもって合併し、損害保険ジャパン日本興亜(株)となりました。
 3. 公益財団法人真照会は、将来社会に貢献し得る人材を育成し、併せて学術・技芸の振興を図るために必要な奨学援助をなすことを目的として、大正6年に創設されました。

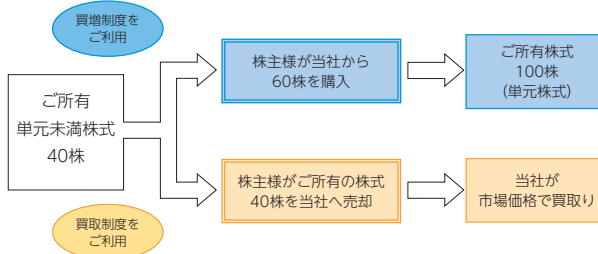
株式に関するお知らせ

単元未満株式の買取・買増請求について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式(1~99株)については市場での売買はできませんが、当社に対して買取請求(売却)、または100株(1単元)となるよう買増請求(購入)をすることができます。お手続きの方法および用紙のご請求は、裏面記載の連絡先にお申し出ください。

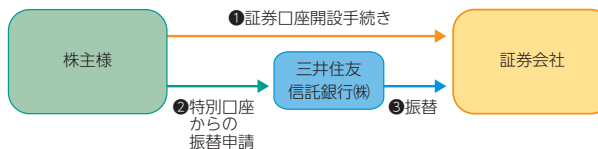
【単元未満株式買増・買取制度例】

○単元未満株式40株をご所有の株主様の場合



特別口座から証券会社の口座への振替申請について

特別口座*に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式を除く)。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお勧めします。



※特別口座
株券電子化前にほふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった場合に、当該株式が記録される口座です。

単元株式数の変更および株式併合について

平成26年9月1日を効力発生日として、当社の発行する普通株式について、5株を1株に併合し、単元株式数を500株から100株に変更いたしました。

株主メモ

ホームページのご案内

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会 5月
配当金支払株主確定日 期末配当 2月末日
中間配当 8月31日

公告の方法

電子公告
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

電子公告掲載ホームページアドレス

<http://www.okaya.co.jp/ir/pn/>

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

連絡先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
全国本支店で行っております。

岡谷鋼機のホームページでは、決算短信等の詳しい財務データや各種IR情報を掲載しています。
是非一度ご覧ください。



・岡谷鋼機ホームページアドレス
<http://www.okaya.co.jp/>

株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

証券会社の口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
・単元未満株式の買取・買増請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	口座を開設されている証券会社
・郵送物の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	三井住友信託銀行株式会社証券代行部

特別口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
・単元未満株式の買取・買増請求 ・特別口座から証券口座への振替請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	三井住友信託銀行株式会社証券代行部
・郵送物の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取の株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただきます。

確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



岡谷鋼機株式会社



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



環境に配慮した
植物油インキを
使用しています。